

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成28年3月18日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4690300175号
法人名	医療法人昌成会
事業所名	グループホーム詩音
所在地	鹿児島県鹿屋市古前城町9番43号 (電話) 094-44-225
自己評価作成日	平成28年2月21日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/">http://www.wam.go.jp/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成28年3月5日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

鹿屋市の市街地にあることから交通の便も良く、商店街や市役所、郵便局、銀行、市民交流センターなどの主要な機関がある。施設内の日常生活では、毎日の日課としてリハビリや嚙下、ラジオ体操を実施することで規則性のある生活習慣や身体機能の現状維持を図る努力とされている。施設では、共同生活を基本に、誕生会を始め季節に応じた行事を考案し、入居者同士や職員とのコミュニケーションの強化が図れるように工夫している。職員も、その人らしく生活できるように常に意識して業務に携わっている。施設外では、市のイベントである土曜市が毎週開催されたり、物産館も豊富な品揃えで開いているので、季節感を味わえるような散策をしている。また、商店街での買い物や馴染みの理容店、選挙の投票など職員と一緒にやっている。直ぐ近くには、昭和天皇が宿泊とされた御屋敷や四季折々の野の花が咲く楽しみな散歩コースがある。特に地域の神社で行われる七夕祭りや集落のイベントには毎年招待をいただき意欲的に参加として、地区民との交流が図れている。医療法人の運営である施設の有効性を活かして、協力病院として月2回の訪問診療や週1回の訪問看護の導入とすることで、健康管理や急変時の対応ができています。また、通院送迎の支援とすることで、安定したリハビリ実施や医療的管理による治療とできることから、病気や衰えに対しての不安が少しでも払拭とできて安心した生活が送れ、家族の負担軽減にも繋がっている。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- 当ホームは、整形外科病院が母体医療法人であり、グループホームや通所リハビリテーションなどを運営し、地域医療や高齢者福祉に携わっている。市街地に位置するホームは、高台にありイベントやイルミネーションを眺めたりして窓越しに楽しんでいる。
- 理念は、家族であり、みんなで明るく、助け合い、笑顔で語りあえる家族として支えるというものであるが、再度話し合い本来の理念を補足しわかりやすくして共有するなど理念に沿ったケアに取り組んでいる。
- 管理者は、町内会の行事や奉仕作業に積極的に参加し、ホームの行事を通じて地域住民と日常的に交流している。決まった散歩コースを職員と一緒に散歩される利用者もあり、地域の方と挨拶や会話を楽しむなどしている。また、通所リハビリテーションの外出し、幼稚園児と交流したり、中学生の職場体験学習、踊りなどのボランティアの受け入れも柔軟にしている。
- 母体の医療機関や訪問看護ステーションとの医療連携が図れ、訪問診療や緊急時の対応に配慮している。利用者や家族は、リハビリへの意欲も高く外来リハビリに外出される方も両ユニットにおられ職員が支援している。
- 職員は、年間の行事計画を作成して外出し、職員と一緒に作る手作りのおやつ時間は利用者の楽しみの一つになっている。地域の方からの差し入れもあり、菜園の旬の野菜を活用するなど食の楽しみを大切にしている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念を共有し実践に繋げている。	理念は、家族としてみんなで明るく、協力し助け合い、笑顔で語りあえることを目指したものである。2年前に職員で話し合い一層地域を意識した理念として補足したものを作成し共有し日々のケアに取り組んでいる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の方々との会議をしたり地域行事への参加をしている。	町内会に加入し、管理者は清掃活動、総会などの地域行事を通じて積極的な交流を心がけている。地域の方から差し入れがあったり、中学生の職場体験学習の受け入れやボランティアなど日常的に交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	地域の高齢者等の暮らしに役立つ事がないかを話し合いながら取り組んでいる		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回運営推進会議開催し、利用者様サービスの実際評価への取り組みについて話し合いサービス向上に取り組んでいる。	家族代表は、輪番制にしているが、身寄りのない利用者も多く家族の参加は少ない。委員会で、ホームの取り組みを報告し、現状の課題などについてメンバーから意見をもらうなどして出された意見は業務の改善やサービスの向上に活かされている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	事業所の実情やサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	市担当者とは、電話やメール、面談などで相談したり報告するなどして日頃から連携している。市主催の研修会の紹介もある。また、福祉担当者や成年後見人との連携を密におこない、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	施錠と身体拘束をしないケアに取り組んでいる。無断外出の対策としてセンサーを使用している。事故防止の為施錠あるが、苦痛を与えないように最小限にしている。	鍵をかけない暮らしを実践しており、転倒防止のためセンサーマット、鈴などを活用しているが、センサーだけに頼ることがないよう気をつけている。また、家族の希望でGPSペンダントを身につけている方もある。職員は、年間の研修計画に勉強会を位置付けて身体拘束の弊害について共通認識を図り安全な暮らしを支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎月虐待防止についての勉強会を開催し、知識を深めている。職員一人一人が注意を払い防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	本人の意思も尊重し本人が望んでいる事、また必要性を関係者と話し合い必要な人には、活用できるよう支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>十分な説明を行い理解と納得を図っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>要望や意見を、管理者職員は外部へ現せる機会を設けそれらを運営に反映している。</p>	<p>利用者には、満足度調査を実施し、外出や嗜好について利用者の意向を確認している。利用者とは、日々の生活の中でのやりとりで希望や意向について把握するようにしている。家族には、年2回の家族会や面会、推進会議時に意見交換し要望などを聞き取るようにしている。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>職員の意見や対策を聞く機会を設け反映させている。</p>	<p>管理者は、職場環境を良好にすることを心がけており、職員からの意見や提案などが出しやすい雰囲気作りにも努めている。今後、法人職員による毎月2人程度の職員の個人面談を検討している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>各自が向上心を持って働けるよう、職場環境や条件、整備に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>行事などで交流を行い、ネットワーク作りをしてサービスの質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	困っていること、不安なこと要望等を聞き本人との関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係  サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	家族の意見を聞き、不安や要望を聞き関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援  サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	カンファレンスを行い、必要としている支援を見極め、他のサービス利用を含めて対応に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係  職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	利用者様と一緒に過しながら、喜怒哀楽を共にし、学んだり支えあう関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	利用者様を介護される一方の立場に置かず、本人と家族がいつでも連絡や面会が出来るようにしている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	本人が大切にしてきた関係が途切れないようにしている。	知人が面会に来られる方や、土曜日に職員と外出される方がある。職員は、兄弟の方からの電話の取次ぎや手紙の代読など支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様の関係を把握し、レクレーション等を通し、支援に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	必要に応じて本人、家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	一人ひとりの暮らし方の希望や意向の把握をし、希望に添えるように努めている。	利用者ごとに担当職員が配置されており、本人の思いを汲み取り共有するようにしている。また、職員は申し送りノートなどを活用し支援する中でも本人の思いに気づくよう努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用者様の生活歴や暮らし方を尊重し、サービス利用の経過に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	個々の行動パターンや、心身状態など記録に残し職員が把握できるようにしている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者様がより良く暮らせるように話し合い、現状に即した介護計画を立てている。	モニタリングは、担当者から計画作成担当者へと連携し、ケアプラン実施状況を日勤リーダーがチェックし計画に沿ったケアを実践している。職員は、目標を意識したケアに取り組んでおり、変更については柔軟に対応している。	



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の行動や言動、ケアなど個別記録に残し情報を共有し、より良いケアが出来るようにしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々で生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>本人や家族の状況、その時々で生まれるニーズに対応して、柔軟な支援サービスに取り組んでいる。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>安全で豊かな暮らしを楽しむ事が出来るように支援している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>月に2回の訪問診療を行っている。また、かかりつけ医との連携を図り適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	<p>訪問診療を隔週受けており、他科受診は、家族に代わり職員も通院介助を支援している。必要に応じて訪問歯科診療などが受けられる体制もあり、利用者は適切な医療が受けられている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>訪問看護や看護職員が利用者様の状態を把握し、適切な受診や看護が受けられるよう支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院されて際は安心して治療ができるよう、また早期に退院ができるように情報交換をしている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>重度化した場合や終末期の方針については、医師や家族と蜜に話し合いを行い、より良いケアが出来る様に取り組んでいる。</p>	<p>重度化に関する指針があり、契約時や段階に応じてその都度文書（利用者の身体状態急変時の対応）で同意を得るよう努めている。看取りについても柔軟に取り組んでおり、実績がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変や事故発生に備え、常にシュミレーションを行ったり勉強会を行い、すべての職員が対応できるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>定期的に火災訓練や点検を行い、地域の方々との協力体制を築いている。</p>	<p>自動通報装置は、町内会長にも通報がいくシステムとなっており、推進会議時に地域の連携を確認している。自主訓練の一環で環境整備を計画に取り入れて実施している。水やインスタント食品などの備蓄もある。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	プライバシーの保護や、人格を尊重し、対応している。	管理者は、個人情報の取り扱いについて職員に教育している。年長者として敬い、失礼のない言葉かけを心がけているが、本人にとって心地よい言葉使いや呼びかけにも配慮して安心感を得ている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の思いや希望を表して頂けるように働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々のペースに合わせてながら、その日を楽しく過ごせるようにしている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	常に身だしなみに気を使い、気持ちよく生活ができるようにしている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	好みの食事やバランスを考えながら提供している。又体調に合わせてながら職員と共に準備や片付けを行っている。	摂食嚥下障害のある方や食事介助の方もおられ安全に食事が摂れるよう配慮している。菜園があり、地域の方などから野菜の差し入れもある。手作りのおやつは年間計画が作られ利用者の楽しみになっている。食事の手伝いをされる方もある。家族と一緒に食事の機会もあり、外食も楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量や水分量の確認をし、記録に残しチェックをしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアの声掛けや見守り介助をしている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個々の排泄パターンを記録し、時間での声掛けや毎食前のトイレ誘導を行っている。	排泄チェック表にて、排泄のリズムを確認しトイレでの排泄を促したり、羞恥心や不安に配慮し清潔保持ができるよう支援している。食事や水分補給などに気を配りながら便秘予防に取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェック表を使用し、排便の確認をしている。1日必要量の水分確保や繊維の多い食事を提供し、便秘予防に取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	楽しく気持ちよく入浴していた だけのように支援している。	重度化が進み浴槽に浸かり入浴できる方は少ない状況である。足浴をしながらかけ湯にて入浴できるよう支援している。入浴の日は予め決まってはいるが、必要に応じて入浴できるよう配慮している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安 心して気持ちよく眠れるよう支 援している	一人ひとりのペースに合わせ、 安心して入眠できるように支援 している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の 変化の確認に努めている	薬の目的を確認し、誤訳がない ように再確認しながら服用して いる。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過 ごせるように、一人ひとりの生活 歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援を している	一人ひとりの生活歴を確認し、 できる事をし楽しみが持てるよ うに支援している。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそ って、戸外に出かけられるよう に支援に努めている。また、普 段は行けないような場所でも、 本人の希望を把握し、家族や地 域の人々と協力しながら出かけ られるように支援している	定期的に散歩や外出したり、ま た希望等を把握しながら室外に 出かけている。	日常的に散歩に行かれる方は、近 所の神社までを散歩コースにし ている。日曜日に職員と大型ス ーパーに買い物に出かける方 や外出の年間計画を立てて、 外出している。通院介助がて らドライブを楽しまれる方も あり、家族とも外出をしてい る方もおられる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>希望や力に応じお金を所持したり、自由に使えるようにしている。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話の希望があると時は電話をしたり、自由に手紙など書けるようにしている。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>共用の空間が利用者様にとって不快や混乱を招くような刺激がないよう配慮し、居心地良く暮らせるようにしている。</p>	<p>季節の花が花瓶に活けてあり、壁には季節が感じられるよう折り紙による花々が掲示してある。天井は高く採光もあり、畳スペースやソファがあり思い思いに過ごせるよう配慮されている。対面式キッチンで音や匂いが五感を刺激する家庭的な雰囲気共有スペースである。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>一人ひとりの思いを重視し、それぞれが楽しく暮らせるよう配慮している。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>本人や家族と相談しながら使い慣れた物や、好みの物を活かして本人が居心地良く過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ベットやダンス、洗面台などが設置されている。テレビ、家族写真、位牌、ぬいぐるみなどの使い慣れた物を置き、個性的でその人らしい居室でくつろげる空間もある。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>一人ひとりができる事や分かる事を活かして、安全かつできるだけ自立して生活が送れるように工夫している。</p>	/	/



## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない